



2023年度：9名応募、9名全員採用（1年生3名 2年生3名 3年生1名 4年生2名）  
2020-2022年度 実施せず  
2019年度：13名応募、13名全員採用（1年生6名 2年生7名）  
2018年度：11名応募、11名全員採用（1年生3名 2年生7名 修士生1名）  
2017年度：25名応募、25名全員採用（1年生13名 2年生9名 3年生3名）  
2016年度：26名応募、26名全員採用（1年生13名 2年生9名 3年生4名）  
2015年度：22名応募、22名全員採用（1年生7名 2年生10名 3年生4名 4年生1名）  
2014年度：44名応募、選考の結果34名採用（1年生7名 2年生25名 3年生1名 4年生1名）  
2013年度：54名応募、選考の結果38名採用（1年生11名 2年生20名 3年生7名）

### 【ワシントン大学研修後の長期留学と大学院進学実績】

2019年度研修生：リエージュ大学（ベルギー）  
2018年度研修生：兵庫県ワシントン州事務所（アメリカ ワシントン州 インターンシップ）  
2016年度研修生：ニューヨーク市立大学（アメリカ）トビタテ! 留学 JAPAN 7期生、サン・ルイ大学（ベルギー）、ボッコロニ大学（イタリア）  
2015年度研修生：カレル大学（チェコ）  
2014年度研修生：ワシントン大学（アメリカ）、ニューヨーク市立大学（アメリカ、うち1名私費留学）、バルセロナ自治大学（スペイン）、釜山大学（韓国）、リンショピン大学（スウェーデン）、タンペレ工科大学（フィンランド）トビタテ! 留学 JAPAN 3期生、西オーストラリア大学（オーストラリア）トビタテ! 留学 JAPAN 7期生  
2013年度研修生：ヴェネツィア大学（イタリア）、西オーストラリア大学（オーストラリア）、リンショピン大学（スウェーデン）、京都大学 農学研究科 進学、京都大学 情報学研究科 進学  
2012年度研修生：クイーンズランド工科大学（オーストラリア）、西オーストラリア大学（オーストラリア）、ダブリンシティ大学（アイルランド）、マンチェスター大学（イギリス）、ワルシャワ大学（ポーランド）、ヤゲウォ大学（ポーランド）、The University of Texas, Austin, Physics Ph.D. Program 進学、東京工業大学 総合理工学研究科 進学  
2011年度研修生：ユタ州立大学（アメリカ合衆国）、ルーヴァンカトリック大学（ベルギー）、ソウル国立大（韓国）、シドニー大学（オーストラリア）、オーフス大学（デンマーク）

### 【過去の研修生より】

#### 2023年度研修生 法学部 小曾根 葵さん

大学在学中に一度は海外に行って異文化を体験したい、そんな思いでこの研修に応募しました。シアトル滞在中は、ホストファミリーやワシントン大学の学生・先生、インタビュー課題や通学・観光の中で出会う人と想像していた以上にたくさんの人とコミュニケーションをとる機会に恵まれました。母国語ではなく第二外国語として学んだ英語を使いこなしている人や、自分と同年代の現地学生との会話からは特に刺激を受けました。

また、約1か月生活する中で、世界各地から多様なアイデンティティ・価値観・文化をもつ人々が集まり、その文化が組み合わさって「アメリカの文化」が作られていくということ、いわゆる「人種のるつぼ」とか「人種のサラダボウル」とは何か、初めて分かった気がしました。同時に、自分の過ごしてきた環境や自分の持っている価値観は数あるうちの1つに過ぎないのだということに改めて気づかされました。

振り返ると、この研修だけで英語力が飛躍したり、自分の考え方が全く変わったりしたわけではありません。しかし、参加すると決断したことも含め、研修全体を通して得た経験は、失敗を恐れず新しいことに挑戦していきたいという意欲、そして自信につながりました。現地に行くからこそできる経験や学びがたくさんあり、どのような進路を考えている人にとってもきっと有意義な時間になるはずです。私自身もこの研修を活かし今後努力していきたいと思っています。

## 2014 年度研修生 農学部 高階 空也さん (トビタテ!留学 JAPAN 7 期生)

人生の生き方が変わりました。大げさに言っているわけではありません。これまでとは全く異なる新しい生き方を始めるきっかけとなったのがこのワシントン大学研修でした。人生の転機でした。センター試験の英語リスニングテストは 50 点中 22 点。今でも鮮明に覚えているほど英語が大嫌いでした。しかし「海外に行ったことがあるよ」と言うためだけに大学 2 年生の夏にワシントン大学研修へ参加しました。

何もかもが日本と違いました！全てに戸惑ったと同時に全てに感動しました！道の聞き方もわからないほど英語は話せませんでした。身振り手振りで自分の思いを相手に伝えることができること、日本では会えない人々と意思疎通ができることにとっても感動しました。日本しか知らない自分の世界がいかに小さいものかを思い知りました！日本を出れば世界にはもっと色々な人たちがいて、その人たちと交流しないことがどんなにもったいないことなのかを痛感しました！

研修に参加する前はサークル活動もほとんど参加せずただバイトをして大学生生活を過ごしていました。しかしシアトルから帰国してからは、国際的な環境に身を置き、様々な国の人と話したいという想いから、諸外国から国際的に大学生が集まる国際学生会議に所属し、今では副実行委員長を務めています。また大嫌いだった英語も猛烈に勉強して交換留学に必要な TOEFL スコアも獲得することができました。「努力を続けて行動を起こす」原動力に火をつけてくれたのは全てこのシアトルでの生活でした。

私ほど人生の生き方を 180°変える経験をする人も少ないかもしれませんが、もしまだ海外研修を体験していなければ行くべきだと思います。帰国後のあなたの人生が大きく動き出すかもしれません。日本ではない世界、広い世界を直に感じてください。

## 2014 年度研修生 工学部 市民工学科 口井 雅之さん (トビタテ!留学 JAPAN 3 期生)

私の留学生活は、スターバックスでの注文から始まった。白人のお姉さんと向かい合って 5 秒後には私はパニックに陥っていた。“chocolate”が通じなかった。“tall”が通じなかった。店員がなにを言っているのかわからなかった。名前を“Masa”と言ったら、出てきたドリンクに書かれていた名前は、“Mata”だった。カフェでドリンクを注文するだけのことでも、今の自分にとっては困難であると痛感した。

授業での発言、街頭インタビュー、ホームステイ先でのコミュニケーションやシアトルでの生活は日本と同じところを探す方が難しいほど違って、無数の困難への挑戦の連続であった。不可抗力で襲いかかってきていた困難だったが、トライし続けるうちに成功体験が積み上げられ、自信が強まる。すると次は逆に自ら困難に飛び込めるようになった。挑戦することによって自信が生まれ、自信を持つことによって挑戦できる。困難から逃げているは何も始まらないと学んだ。

最終日、スターバックス本社を訪れた。敷地に足を踏み入れた瞬間、内装・構造の壮大さ、美しさに目を奪われた。想定していた机と椅子が効率的に並べられた環境などとんでもない。オフィスデスクなんて誰も座っていなかった。社内のスターバックスカフェで自由に楽しそうに会議をしていた。環境が違えばこうも違うのか。シアトルの日常生活で頻繁に感じていたアメリカの「自由」を体現した職場であると感じた。それと同時に、アメリカの自由について知ったつもりでただで、自分で見て感じて、初めて実感を伴った理解が得られたことに気づいた。

本社の見学を終えた後、私はスターバックスカフェで注文の列に並んでいた。この一ヶ月、生活文化やコミュニケーションなど無数の困難へ挑戦し続けた私は、5 秒後、余裕の表情で“hot chocolate”の“tall”を手にしていった。この留学で私が学んだことのキーワードは「自由」「実体験すること」「挑戦すること」の 3 つである。「自由」とは、自分の人生について、自分で考え、自分なりに生きていくことやその権利のことである。また、物事を本当に理解するには自分の目でみて肌で感じる「実体験」が必要である。「挑戦すること」によって自信が生まれ、自信を持つことによって挑戦できる。「挑戦すること」がはじめの一步である。

帰国して、私は専門を決める前に世界を自分の目で見てもっと知りたいと強く感じた。また自由について考えた時、これまで置かれてきた環境、慣習、周囲の視線、その他様々なものに縛られ、流されて生きてきたことに気付いた。親に勧められるまま、なんとなく行ったアメリカへの留学であったが、今度は自分の意志で長期の留学に行くことを決意した。アメリカでの経験があり、私は市民工学科としては前代未聞である学部3年で留学することを決意した。

しかし、理系の学部から留学に行くことには様々な障害があった。留学することは留年を意味すること。数百万の費用がかかるが、奨学金制度が充実していないこと。（他学部ではもらえる奨学金が工学部ではもらえない。）短期留学に行く前の私ならこれらの困難が現れた時点で諦めていただろう。しかし、挑戦してみなければ何も変わらない、始まらない。留学について詳しいと思われる大学教授のところいき、フィンランドでとれる授業を単位互換できるか、学部以外でもらえる奨学金はあるのか、片端から話を聞きに行った。その結果、単位互換は認めてもらえること、トビタテ!留学 JAPAN という奨学金を提供している組織があることを知ることができた。奨学金について聞いた後も、審査に合格するために教授や大学の面接担当の方にお願ひし、無事合格することができた。

挑戦した結果、トビタテ!留学 JAPAN に合格し、渡航費 20 万円、現地活動費月 16 万をいただいて現在フィンランドに留学している。それに加え、トビタテが提供する独自のコミュニティーの恩恵も受けて、様々な活動に取り組んでいる。これは研修で学んだ挑戦する意思、姿勢があったからこそ獲得できたことである。

もちろん、アメリカでの生活で感じること、学ぶことは人それぞれであると思う。快適な空間から飛び出し、日々無数のトライをして、自分の価値観を揺るがす経験を積むことは今後の人生に影響を及ぼすことは間違い無い。留学に少しでも興味をもっているのであれば、挑戦へのはじめての一歩として、考える前にトビコンで見てはどうだろうか。

### 2012 年度研修生 農学部 小西 康介さん

最初に少し僕の英語学習の変遷について紹介します。僕は 2012 年度のワシントン大学研修に参加した農学部生。半年後に交換留学の選考を通過して 2014 年 2 月から西オーストラリア大学に 1 年間留学。帰国後は TOEFL iBT 92 取得、全国英語プレゼンテーションコンテストに参加、決勝の一手手前まで進出（TOP 20 位）。ただ僕の大学入学当時の英語力はセンター試験 160 点、それだけでした。そんな僕にとっての短期海外研修は、振り返ってみれば、非常に有意義な経験でした。

実体験をしたこと、これは大きな経験になりました。ホストファミリーと英語を話す楽しさ、難しさ、英語で授業を受ける刺激的な生活、広大な歴史あるキャンパスを散歩、どの瞬間も新鮮なものでした。どんな楽しそうな留学報告書を読むよりも、実際に短期海外生活を経験することは、交換留学を目指す上で大きなモチベーションになりました。

この短期海外研修では、自己研鑽の重要性にも気づくことができました。日本で僕よりも英語の学習に力をいれていた他の学生は、一つ上のレベルの授業を受講していました。それは羨ましかったですし、海外に行けば、行ってから、何かが変わると思っていた自分の甘さにも悔しくなりました。日々の積み重ねが次の挑戦の環境を決めることを実感しました。語学研修への参加を迷っている学生がいれば、とりあえず参加すればいいと思います。できればしっかりと準備して。行動を起こして実体験をすれば色々なものが見えてくると期待しながら。研修後に自分は海外生活に興味がないと気づく人がいるかもしれませんが、それが実体験をしたあとの結論なら、気持ちよく次の目標に向かえると思います。

### 2012 年度研修生 経営学部 矢部 健太郎さん

シアトルでの短期海外研修は、私の大学生活、ひいては私の人生をも大きく飛躍させる「起爆剤」のようなものだった。短期海外研修に対して、「本当に英語力が伸びるのか」「ただの海外旅行じゃないのか」と批判的な意見を持っている人も少なくないだろう。確かに、3 週間の研修で英語がネイティブ並にペラペラになったり、TOEIC が満点になったりするのとはごく稀な例だ。しかし、この短期海外研修が

学生にとって今後大きく羽ばたく「きっかけ」となることは往々にしてあり得ると私は断言できる。

実際、英語が苦手だった私にとって海外は縁遠いものであった。「みんな行ってるし、自分もちょっと行ってみようかな。」そのような気持ちでシアトルでの研修に臨んだ。しかし、ホストファミリーの温かさに触れたり、グローバル企業の本社ビルを訪れたり、そして何より外国人と英語でコミュニケーションをとるという機会にさらされて抱いた感情は「もっともっと頑張りたい」というものだった。

シアトルで湧き上がったモチベーションをそのままに、私は帰国後も英語に挑戦し続けた。研修の翌年には神戸大学英語プレゼンテーションコンテスト KUEPCON で優勝、そしてそのまま長期留学を決意し、10ヶ月間オーストラリアの大学で勉学に励んだ。その結果 TOEIC は研修前の 600 点台から 1.5 倍以上になり、外国人相手に臆することもなくなった。そして何より、これから社会に出て海外でやっていく自信に繋がったのは私の人生において大きな意味をもつだろう。

海外研修に行くまでは、まさか私が英語プレゼンコンテストに出場するとは、1年弱も留学に行くことになるとは、そしてこれから海外でやっていこうとは夢にも思ってもいなかった。全てはシアトルでの短期海外研修がきっかけとなったことは間違いない。この短期海外研修を海外に目を向ける「スタートライン」として捉えてみるのも良いのではないかと私は思う。

#### 2012 年度研修生 理学部 高木 涼太さん

僕は大学に入学する前から漠然とした海外への憧れがあった。「なんかカッコイイし大学に入ったら留学なんてできたらいいな」となんとなく思っていた。このワシントン大学研修に興味をもってこの文章を読んでいる人達にもそういう思いを抱いている人はいるんじゃないかと思う。具体的にこの研修を将来に繋げるところまで想像出来ている人なんてほとんどいないだろう。もちろん僕もこの研修に参加したときには将来のことなんて全く想像していなかった。ただこの研修のことを何かの機会に知って、面白そうだし参加してみようと思って軽い気持ちで参加を決めた。

実際にワシントン大学に行って感じたことはアメリカの大学の規模の大きさだった。日本の大学では考えられない風景が広がっていた衝撃を今でも思い出す。また人もとてもあたたかった。研修中の授業の一環として公園にいる人にインタビューをするという課題があったのだが、何を言っているかよく分からないであろう僕らの英語に対して笑顔で丁寧にインタビューに答えてくれた人々がとても印象に残っている。本当に3週間があっという間で、日本ではぼーっとした夏休みを過ごすよりも何倍も濃く新鮮なものだった。こんな環境で学生生活を送れたらどんなに楽しいものだろうかとそのとき思った。

帰国してからも理学部の専門科目をしっかり勉強する傍ら、少しでも英語に触れていようと思い外国人が集まるというクラブに繰り出したり、神戸大学の英語のプレゼンセミナーを受講したりとなんとか英語に触れる努力をしていた。授業の合間に理学部から国文までプレゼンセミナーを受けに行く僕の姿をみて友達が「よくやるよね～」なんて言われるくらいに合間を縫って英語に触れようとしていた。なぜかは分からないがこの地道な努力が将来役に立つだろうという確信があった。

4回生にあがる前に、どの研究室に入るか、また大学院はどうするかという進路について考えなければならぬ時期があった。そのときの僕は海外への憧れを捨てきれぬまま自分の専門の勉強に励んでいた。理系の学問の特性上、海外留学との両立は厳しいように見え、多くの人がそうするように普通に大学院へ行き、技術系の企業に勤めるという選択肢も考えた。しかし、ここで海外への憧れとワシントン大学での経験が僕をもう一つの選択肢へと目を向けさせた。アメリカの大学院に行けばその両立ができるのである。これは大きな決断であったが、その道を進むと決めてからは猪突猛進という言葉そのままに約1年間ひたすら勉強した。

2015年3月の始め、The University of Texas at Austin, Physics Ph.D. Program から合格通知が届いた。約5-6年のアメリカ生活への切符である。全ての始まりはこのワシントン大学研修だった。これがなけ

れば海外への憧れを悶々と募らせたまま僕の大学生活は終わっていただろう。この3週間という研修期間で劇的に何かが変わるわけではないと思う。しかしその経験はその後の選択の際の視野を広げ、行動を起こす原動力となるには十分な力を持っている。

神戸大学 国際コミュニケーションセンター 企画・支援

2026 年度  
ワシントン大学夏季英語研修

説明会資料

2026 年 4 月 14 日 (木) 12:30~13:00

[Teams](#)



**8 August - 3 September, 2026**  
**The University of Washington, Seattle, USA**

## 本研修講座の趣旨

本研修は、外国語運用能力の向上を図るとともに、異文化に触れる機会を提供することを目的としています。また、教室や授業での日頃の学習成果を実際に試す実践の場でもあります。そのため、大学での学修に必要な英語運用能力の向上と、アメリカ合衆国の文化・社会への理解を深めることを目的とした内容となっています。

英語学習において、実際に現地で生活しながら英語を学ぶことには重要な意味があります。ここでは、教室での擬似的な体験では得られない、生きた英語に触れることができます。週2回・3時間といった限られた授業時間ではなく、毎日24時間、ときには夢の中にまで英語が入り込むような環境の中で過ごすこととなります。いわば、英語という重力を身体全体で感じる体験です。

海外外国語研修の目的は、海外で集中的に研修を行うことによって、効果的に語学力を高めるとともに、異文化社会に直接触れる経験を通じて、幅広い教養と視野を備えた人材を育成することにあります。また、将来、中・長期の海外留学を目指す学生にとっては、その準備段階としても有意義な機会となるでしょう。

## ワシントン大学夏季英語研修の概要

### 【受入機関】

[ワシントン大学](#) (州立大学 The University of Washington) アメリカ合衆国 ワシントン州

### 【プログラム】

The University of Washington, Short-term English Language Program (UW, STEP)

午前：コミュニケーション能力養成のための英語レッスン

[Language and Culture クラス](#) (英検・TOEIC・TOEFL スコアを提出するのが望ましい)

午後：課外活動 (ダウンタウン観光、湖上アクティビティ等)

### 【日程】 (全日空 利用予定)

2026年8月8日(土) 伊丹空港出発 ~ 8月8日(土) シアトル・タコマ空港国際到着

2026年8月10日(月) STEPプログラム開始 ~ 8月28日(金) STEPプログラム終了

2026年9月2日(水) シアトル・タコマ国際空港出発 ~ 9月3日(木) 伊丹空港到着

### 【滞在先】

ホームステイを利用します。

※現地では、日本人コーディネーターが、シアトル・タコマ国際空港到着から出発まで、研修生の日々の生活をアシスタンスしてくれます。

### 【費用】

総額 およそ818,000円 (1ドル=159円の場合)

498,000円(銀行振込)+STEP授業料2010ドル(+海外クレジットカード支払手数料4.25%、クレジットカード払い)+燃油サーチャージ

※今後の為替の動きによっては、この金額が増減することがあります。

※この総額には、航空券、STEP研修費用(教材、授業料、課外活動費等)、ホームステイ費用(宿泊費、朝晩の食事代)、シアトル・タコマ国際空港~ワシントン大学間の送迎バス代金が含まれます。

※神戸大学で加入する海外旅行保険、現地での交通費、ランチやホームステイ先以外でとる食事(外食)にかかる代金、伊丹空港から自宅までの往復交通費、お土産代などは個人負担となります。

## 【対象・募集人数】

神戸大学在籍の学部生 11 名

※最小催行人数は 7 名です。7 名以下の場合でも渡航できますが、航空運賃が若干高くなります。

## 【オンライン申込】

申込はこのサイトから行うこと。 < <https://forms.gle/jLp5j5faLFAduSv7> >

## 【申込受付期間】

2026 年 4 月 14 日（火）～ 4 月 26 日（日）23 時 59 分 59 秒

※必ず、この期限内に、submit ボタンをクリックすること。4 月 14 日以前、4 月 26 日以降に送信された学生の情報は選考の対象外となります。

※本研修の日程が、各学部で実施される実習や集中講義の日程と重なっていないかを十分に確認すること。（毎年、数名の学生が直前にキャンセルをしています。キャンセルをする時期によってはキャンセル代金が発生します。）

## 【研修生選考期間】

2026 年 4 月 27 日（月）～ 5 月 1 日（金）

※応募者多数の場合に限り、志望動機に基づいて研修生が選考されます。選考結果は、応募者全員に、4 月 27 日より email で連絡されます。

## 【研修生のスケジュール】

有意義で実りある研修にするために、下記の日程でオリエンテーションが行われます。研修生は必ず全てのオリエンテーションに出席すること。

5 月 1 日（金） ワシントン大学へ参加登録 （STEP 授業料支払い）	クレジットカード （オンライン）	STEP の参加登録を各自で速やかに済ませた後に、STEP 授業料 2010 ドル決済
5 月 1 日（金）	銀行	旅行代金 5 万円の振込
5 月 15 日（金） 12:30-13:00 事前研修①	Teams	各種申込用紙の記入方法の確認 STEP で受講を希望するクラスの確認
5 月 29 日（金） 17 時	K 棟 1 階 (山側から 2 番目の机)	参加申込書（保護者署名捺印）、ホームステイ申込書（3 ページ、写真貼付）、緊急医療処理承諾書（保護者署名捺印）、パスポートのコピー（顔写真のページ）、ESTA のコピー、OSSMA 誓約書（本人・保護者署名捺印）、以上の書類を提出
7 月下旬	銀行	旅行代金の残りを振込
8 月 6 日（水） 10:30-15:00 事前研修②	対面	ホストファミリー、スケジュールの確認、課題内容準備
9 月 30 日（水） 10:30-12:30 事後研修	Teams	事後研修資料提出

## 【OSSMA 危機管理プログラム・学内オリエンテーション】

学内で開催されるオリエンテーションに 1 回出席すること。（詳細は追って連絡します。）

# 2026 年度 ワシントン大学夏季英語研修 参加申込にあたっての留意点

1. 参加申込にあたっては、保護者ないしはご家族と十分に話し合った上で、お申し込み下さい。また、所属学部・学科の行事等、部活動のスケジュールなども十分に確認した上で、参加申込を行ってください。
2. 神戸大学の学生として恥ずかしくない行動をとることができる学生の参加を期待します。書類提出の期限、オリエンテーションへの出席、団体行動に対する意識など、規律ある行動をとるように心がけてください。このようなことが遵守されない場合は、参加を取り消すことがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
3. 本研修は、研修プログラムの趣旨に照らして、神戸大学の学部学生、特に1~2年生を主な対象としています。レベルは初級~中級程度とお考え下さい。
4. 本研修の海外渡航期間を個人的に変更することはできません。定められた日程で出国、帰国することをあらかじめご承知おき下さい。規定の行程に従うことができない場合は、本研修への参加はみとめられません。
5. 本研修生に選ばれた学生で、パスポートを未取得の者は、ただちに申請手続きに取りかかってください。
6. 申込後は、よりよい研修となるように、また研修までの準備のために、事前研修が2回開催されます。全ての事前研修に必ず出席してください。
7. 本研修では、シアトル・タコマ国際空港到着から、シアトル・タコマ国際空港出発までは、日本人コーディネーターが同行します。
8. 本研修では、ホームステイ先に滞在します。原則として、ホームステイは、ホストファミリー1家庭に対して神戸大学生1名が配置される予定です。
9. 本学の海外研修に参加する学生は、「OSSMA 危機管理プログラム」への登録と、オリエンテーションへの参加も義務付けられています。OSSMAに関する費用は全て大学が負担します。

【オンライン申込上の注意】 オンライン申込サイト：<https://forms.gle/jLp5j5faLFAduSv7>

1. 電子メールアドレスは、申込後のさまざまな連絡に必要となるほか、研修中にも重要な連絡手段となりますので、海外でもメールがチェック可能で、国内でも頻繁に使用するメールアドレスを入力してください。
2. 学内の他の英語研修と重複して申し込むことはできません。
3. 応募者が多数の場合に限り、「志望動機」に基づいて研修生が選考されます。この申込は先着順ではありません。
4. オンライン申込受付の締切は4月26日（日）23時59分59秒です。

学内問い合わせ先

2026 年度 ワシントン大学夏季英語研修 担当教員

木原 恵美子（国際コミュニケーションセンター 助教） <emiwamoto@aquamarine.kobe-u.ac.jp >

# 州立ワシントン大学 STEP 英語研修

Short Term English Programs / University of Washington, Seattle

2026/08/08~2026/09/03

Fun activities!

STARBUCKS

Many Seattle companies you may recognize!

Concentrate on your studies in the relaxed atmosphere of the campus!!

Special Programs at Prestigious Universities!

神戸大学  
旅行企画・実施：  
(株) 東京エクスプレスインターナショナル  
観光庁長官登録旅行業第 125 号 (社) 日本旅行業協会正会員  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-8-25 近鉄虎ノ門ビル 7F  
担当：大岩 [oiwa@tokyo-exp.co.jp](mailto:oiwa@tokyo-exp.co.jp)

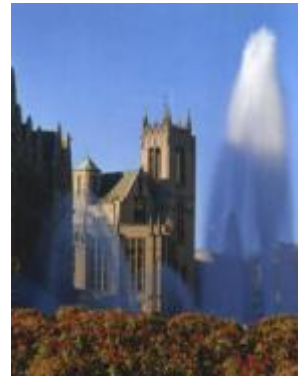
Enjoy exploring Seattle!

University of Washington

州立ワシントン大学

アメリカ北西部に位置するワシントン州・シアトル市にあるこの大学は、多国籍な学生が集まり留学生の受け入れも盛んです。3つのキャンパスに在籍する約6万人の学生うち8900人弱が海外からの留学生です。シングルキャンパスとしてはウェストコーストで最大の規模を誇っており、ハーバードなど名門大学から成るアイビーリーグ (IVY League) に対し同等の教育を受けられるとされる州立大学「パブリック・アイビー (Public Ivy)」としても知られています。

州立の総合大学としてウェストコーストで2番目に古い伝統を持つワシントン大学は1861年に設立され、17の学部を有しシアトルキャンパスの学生数は52,000名に達しており、ノーベル受賞者も多いことで有名です。ワシントン大学の教授陣の教育と研究のレベルは広く海外にも知られており、常に全米大学ランキングの上位にランクされています。専攻を後から決めるPre-majorもあり、大学1年生、2年生終了後に専攻を正式に決めることも可能で、また学内にある主な図書館には480万冊以上の蔵書がありこちらもアメリカトップクラスを誇っています。有名な学部として医学部、工学部、法学部や海洋生物学部、森林学部、歯学部、コンピュータサイエンス学部、建築学部などがあり、全米各地はもちろん、海外からも学生や学者が集まってきます。2024年も生化学 (Biochemistry) 教授がノーベル賞を受賞しています。



Drum Heller Fountain & Gerberding Hall- U of W

英語研修 (STEP)

- Short Term English Programs -

州立ワシントン大学コンティニュアムカレッジの専門チームが担当するSTEPプログラムは、UW正規のコース設計・教授陣・評価基準をもとにしており、短期間で効果的に英語とアメリカ文化を学べる研修です。さらに長期留学生を対象にしたカリキュラムや実践的スキルを短期留学生向けにアレンジして提供しており、参加者は初回の授業登録からワシントン大学の正規学生として扱われ、学びながら留学生活への準備を進めていきます。

今回の研修では、最もバランスの取れた「Language and Culture」に参加します。授業では、コミュニケーション英語を中心に、プレゼンテーション、ポキャブラリー、ネイティブの表現、発音練習を行い、さらにインタビューやディスカッション、小グループでの発表を通じてアメリカの習慣や文化を総合的に学びます。海外での学びが初めての方にも安心して参加できる構成で、幅広いレベルの学生に適した内容となっています。

授業は平日午前中に約3時間行われ、1クラス平均14~18名の少人数制。多様な国籍や出身国の学生と共に学ぶ環境で、英語が苦手な学生から得意な学生まで、自分のレベルに合わせて挑戦できます。プログラムの最後には修了式もあり、充実した学びの成果を実感することができます。

ワシントン州・シアトル市



STEP アクティビティー

- Activity & Field Trips -

授業の一環として、グループ・プロジェクトやアクティビティーなど市内各所にて行われます。毎週午後はアクティビティーが数回予定されており、教室内でのレッスンとあわせて、これらの実践的な会話を通じ、言語の習得のみならずアメリカの文化・習慣を体験することができます。授業中のアクティビティーとして、市内人気スポット、パーク、博物館や水族館、アートギャラリー見学、フェリークルーズなどが予定されています。(天候により変更有) その他、週末は気の合う仲間やホストファミリーと自由行動を利用し、各自でシアトル市内の人気スポットをお楽しみいただけます。

研修中の生活とホームステイ

研修期間中はシアトル市内または周辺のアメ리카人家庭に滞在しグローバルな家庭生活を体験します。世界中から人が集まる多国籍な国アメリカ。現地で生活・習慣・文化の違いを学び自分の視野や考え方をさらに広げる貴重な体験となるでしょう。

多くの外国人が絶賛する日本。安全、親切、便利、清潔、美味しい食べ物が多い、そんな国は世界でもそうありません。逆に日本に住む皆さんが海外で留学や生活するには、人によっては簡単ではありません。しかし多様性(Diversity)を理解し自分の視野を広げる絶好のチャンスでもあります。

通学には市内電車(LINK)・バスを利用します。シアトルの公共交通機関は市民の足としてダウンタウンを中心に路線網が発達しシアトル各所へ自分で見学する時なども利用することができます。

朝、夕食はステイ先で食事を取り、平日の昼食は、各自持参したり、大学カフェテリアや周辺カフェ、レストランなどを利用します。滞在先の家庭によって対応や滞在生活は異なることを予めご理解ください。

# ワシントン大学英語研修 (STEP Program Session 2)2026 予定スケジュール

日付	発着地	現地時刻	交通機関	スケジュール		食事			宿泊	
				午前	午後	朝	昼	夕		
1	8月8日 (土)	大阪発 (東京経由) シアトル着	朝 午後	航空機 専用バス	一路シアトルへ向け出発 *****途中国際日付変更線通過***** ワシントン大学へ移動 大学周辺見学、ホームステイのオリエンテーションなど 夕方、ホストファミリーと対面。各家庭に入る					
2	8月9日 (日)				自由行動又は、ホストファミリーと共に過ごす		機		○	ホームステイ
3	8月10日 (月)				STEP 登録手続き ウェルカムレセプション	クラスごとに 大学ウォーキングツアー			○	ホームステイ
4	8月11日 (火)	基本スケジュール (2025年の場合) STEP クラス 08:30am~11:50 予定			STEP クラス	STEP Field Trip			○	ホームステイ
5	8月12日 (水)				STEP クラス	自由研修			○	ホームステイ
6	8月13日 (木)				STEP クラス	STEP Field Trip			○	ホームステイ
7	8月14日 (金)	各自昼食 12:00pm~ カフェテリア、学生街等にて			STEP クラス	自由研修			○	ホームステイ
8	8月15日 (土)				STEP アクティビティ 又は自由研修後、帰宅 1:00pm~ シアトルプレミアムアウトレット ショッピング				○	ホームステイ
9	8月16日 (日)				自由行動又は、ホストファミリーと共に過ごす				○	ホームステイ
10	8月17日 (月)				STEP クラス	自由研修			○	ホームステイ
11	8月18日 (火)				STEP クラス	STEP Field Trip			○	ホームステイ
12	8月19日 (水)				STEP クラス	自由研修			○	ホームステイ
13	8月20日 (木)				STEP クラス	STEP Field Trip			○	ホームステイ
14	8月21日 (金)				STEP クラス	自由研修			○	ホームステイ
15	8月22日 (土)				自由行動又は、ホストファミリーと共に過ごす				○	ホームステイ
16	8月23日 (日)				自由行動又は、ホストファミリーと共に過ごす				○	ホームステイ
17	8月24日 (月)				STEP クラス	自由研修			○	ホームステイ
18	8月25日 (火)				STEP クラス	STEP Field Trip			○	ホームステイ
19	8月26日 (水)				STEP クラス	自由研修			○	ホームステイ
20	8月27日 (木)				STEP クラス	STEP Field Trip			○	ホームステイ
21	8月28日 (金)				STEP クラス	修了式			○	ホームステイ
22	8月29日 (土)				自由行動又は、ホストファミリーと共に過ごす				○	ホームステイ
23	8月30日 (日)				自由行動又は、ホストファミリーと共に過ごす				○	ホームステイ
24	8月31日 (月)				8/31 又は 9/1 Amazon AWS 訪問予定				○	ホームステイ
25	9月1日 (火)				8/31 又は 9/1 Amazon AWS 訪問予定				○	ホームステイ
26	9月2日 (水)	シアトル 発	午後	航空機	朝大学に集合し、専用バスで空港へ移動 一路、帰国の途へ *****途中国際日付変更線通過*****					機内泊
27	9月3日 (木)	(東京経由) 大阪 着	夜		東京経由で大阪へ		機			

★航空会社：全日空予定      ★上記アクティビティ内容は現地の都合や航空会社のスケジュールによって変更になることもあります。

4:00	6:00	8:00	12:00	13:00	16:00	18:00	23:00	4:00
早朝	朝	午前	昼	午後	夕方	夜	深夜	

# 参加要項

**研修名** 州立ワシントン大学 STEP 英語研修プログラム  
**旅行日程・内容** 日程表をご参照ください。

**定員** 11名（最少催行人員7名）

**参加資格** 18歳以上、高校卒業以上  
(文化、習慣、国籍、人種の違いなど多様性 Diversity を高める理解に努力できる方)

現在医師の治療を受けている方、身体や知的障害をお持ちの方、健康を害している方、補助犬使用者の方、その他の特別な配慮を必要とする方など、必ずその旨お申し出ください。パスポートをお持ちでない方は、すぐに申請を始めてください。

**旅行代金** 498,000 円 (ワシントン大学授業料、燃油別途)  
(参考:授業料+旅行代金で 約818,000 円 \*1ドル=159 円計算の場合)

**旅程管理**  
空港でのサポート及び現地スタッフが必要に応じてサポート致します。  
滞在中困ったときなどは、現地スタッフのほか、インストラクターや STEP プログラム担当者等、必要に応じてサポートさせていただきます。

**旅行代金**  
**下記の費用は旅行代金に含まれます**  
○ホームステイ関係費用、(1名1家庭)、日程表に含まれる食事代  
(昼食代は含まれません、2名ステイ希望はご相談ください)  
○エコノミークラス往復航空運賃、日本・アメリカ空港税等  
現地空港～学校間の送迎費用、日程に明記されるツアー費用、センチング及び現地スタッフ費用、規定内航空機委託手荷物運搬料、日程に含まれる団体行動中のサービス料、チップなど

**次の費用については旅行代金に含まれません**  
○**燃油サーチャージ** (2026年4月現在は 往復63,800円) \*ANA  
○ワシントン大学 STEP 研修関係費用(\$2010)  
英語研修受講料と各地アクティビティ費用などが含まれます。  
(お申し込み後、各自でオンライン登録とお支払いが必要です)  
○米国 ESTA 電子認証申請料(約\$42 実費)  
○2026年旅券 取得手数料  
10年用の旅券16,300円(15,900円オンライン申請の場合)  
10年用の旅券11,300円(10,900円オンライン申請の場合)  
○授業料支払い: 海外クレジットカード支払い手数料4.25%  
○その他  
海外旅行傷害保険料(神戸大学から指定される保険に要加入)、  
通学交通費、日本国内交通費など、日程表に明示されない食事代、飲物代、クリーニング代、データ通信・電話料金等の個人的費用、アクティビティ参加の交通費、手荷物超過料金など  
\*アメリカの医療設備は大変高度に発達していますが、医療費が高いことでも有名です。

**最終日程表**  
最終的な利用交通機関等明示した確定書類、ご出発の案内、日程表等は後日郵送致します。なお、期日前であってもお問い合わせいただければ手配状況についてご説明致します。

**申込方法** 説明会にて案内資料を配布させていただきます。  
(参加者ご自身で州立ワシントン大学レジストレーション登録と授業料支払いが必要です)  
※登録時にクラス分けのためのリーディング動画の撮影とアップロード、簡単なライティングの回答などが必要です。

**申込登録期間**  
**2026年4/14(火)9時0分0秒～4/26(日)23:59分59秒まで**※  
神戸大学指定フォームにて参加希望登録を完了して下さい。  
4/26以降に研修生として採用された後に、州立ワシントン大学指定サイトに授業登録とお支払いへ進んでいただけます。※速やかに本手続きを済ませてください。  
州立ワシントン大学の方で定員になり次第募集終了となり、渡航できなくなります。

**旅行契約の成立** 続けて旅行手続も開始いたします。STEP 登録と授業料のお支払い完了後、お申込金 50,000 円(旅行代金の一部)をお振込み下さい。  
申込金の受領を以て(お申し込み)成立となります。

**支払方法**  
①STEP 授業料→②お申込金 →③残金の順番です。  
①STEP 授業料は、州立ワシントン大学指定サイトにて、授業登録後、指定日までにオンラインでお支払いとなります。  
②お申込金 50,000 円のお振込み  
③旅行残金(後日請求書が郵送又は配布されます)  
右上指定口座にお振込みください。説明会で詳しくご説明いたします。(お申込金、旅行残金はお振込みのみとなります)

**振込期限** 残金の請求書が届きましたらご確認の上、期日までに振込下さい。

**振込先** りそな銀行 赤坂支店 269  
普通口座 1449360  
口座名 東京エクスプレスインターナショナル

**渡航手続**  
現在帰国日まで有効な旅券をお持ちでない方、または新しく旅券を取得する方は、お早めに居住地の都道府県旅券窓口にて申請・受領をしてください。また当旅行参加に際し、原則的に日本国籍の方については査証の申請は不要です。日本国籍以外の方については査証申請が必要な場合があります。米国国籍をお持ちの方は有効な米国パスポートも必要です。アメリカ入国に必要な電子渡航認証システム(ESTA)、また旅券の具体的な申請手続きについては、お申込後の説明会にてご案内致します。

**参加取消料(旅行代金)**  
旅行開始日の前日から起算して  
40日目に当たる日以降31日目に当たる日まで 旅行代金の10%  
30日目に当たる日以降3日目に当たる日まで 旅行代金の20%  
旅行開始日の前々日以降当日まで 旅行代金の50%  
旅行開始後または無連絡不参加(及び途中帰国) 旅行代金の全額  
\*上記以外に取消時点で実費が発生している費用に関しましては別途徴収させていただきます場合がございますのでご了承下さい。州立ワシントン大学の授業料支払いクレジットカード手数料4.25%、レジストレーション登録費\$55は返金されません

**免責事項**  
企画・実施旅行会社及び運輸会社は、参加者の皆様方が受けられた損害が次の理由による時はその責任を負いません。天災、海難、火災、政府及びその公共団体の指令、不可抗力による事故、戦争、暴動、ストライキ、盗難、本人の不注意による事故、またそれにより生じた諸経費。なお、この参加要項に記載された以外の諸条件は、旅行会社の約款、運輸会社の約款によります。

**参考事項**  
この旅行の参加費用は、2026年4月現在の航空運賃・為替レートを基礎にしてあります。航空運賃の値上げなどにより参加費用が改正されることがあります。燃油サーチャージは参加費用に含まれません。4月以降発券分の航空券に対して適用される金額 往復 63,800 円を明記しておりますが、原油価格の変動に応じて改定されます。  
航空便のスケジュール変更、その他やむを得ない理由により多少日程が変更されることがあります。国際情勢の変化などにより研修を中止することもありますので予めご了承ください。

お申込後、参加者ご自身で州立ワシントン大学指定サイトよりレジストレーション参加登録と授業料等のお支払い手続きをしていただきます。手続き完了後に参加者の都合でお取消しをされる場合、登録費\$55やクレジットカード手数料は払い戻しされません。

**担当旅行社**  
この旅行の旅行業務一切は下記旅行企画・実施会社が取扱い致します。お申込み後、渡航手続などにつきましては担当者よりご連絡致します。この研修旅行に関してご不明な点は何なりとお問い合わせ下さい。

**旅行企画・実施**  
【UW コンティニューム・カレッジ公式パートナー】  
株式会社 東京エクスプレスインターナショナル  
観光庁長官登録旅行業第125号 JATA 正会員  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-25 近鉄虎ノ門ビル7F  
TEL: 03(5843)8200 FAX: 03(5843)8201 E-mail: oiwa@tokyo-exp.co.jp  
総合旅行業務取扱管理者・担当者 大岩 一弥  
<http://www.tokyo-exp.co.jp/>

この旅行は、上記旅行企画・実施者が企画・募集し実施する企画旅行で、お客様は当社と企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます。)を締結することとなります。この書面は、旅行契約が成立した場合は旅行業法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関しご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記旅行業務取扱管理者にご質問ください。

**個人情報の取扱いについて**  
株式会社 東京エクスプレスインターナショナル(以下当社と申します)は、旅行申し込みの際に提出されたお申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいたプログラムにおいて、運送・宿泊機関、提携機関等の提供するサービスの手配、及びそれらのサービスの受領のための手続き(手配)に必要な範囲で利用させていただきます。それ以外に個人情報を許可無しに利用することはございません。その他当社では、参加者個々の許可を得た場合は、より良いプログラムの開発のための分析(アンケートやご意見ご感想の提供のお願い等)や他プログラムのご案内などお届けするためにお客様の個人情報を利用させていただくことがあります。